

# 村瀬太乙

特別展 ● むらせたいいつ

【前期】平成24年4月4日〔水〕—4月15日〔日〕

【後期】平成24年4月18日〔水〕—4月29日〔日〕

開館時間 水・金 10時—16時、土・日 10時—18時（入館は閉館30分前迄）

休館日 月・火曜日 観覧料 高校生以上500円、中学生以下無料

財団法人岩田洗心館 一階企画展示室

愛知県犬山市大字犬山字富士見町26 tel.0568-61-4634 http://www.iwasenshinkan.jp

赤穂浪士

江戸時代後期から幕末にかけて、小説的  
おもろさで一世を風靡し、輿論が勤王  
へと切り替わるのに巨大な役割を果たし  
た大著『日本外史』の著者にして日本漢  
詩文学史上最高の詩人のひとりと目され  
る頼山陽、その山陽の高弟が、成瀬家の  
侍講となり、版籍奉還後の犬山を、猛烈  
な紫煙と奇行で煙にまきながら、ところ

かまわずぶいぶいと放屁し、飄々孤とし  
て生き、貧窮のうちに世を去った。あと  
には、相当数の漫画のような戯画と一見  
へたくそな書、妻と娘たち、畸人儒者と  
いう世評と追慕がのこされた。郷土の愛  
惜してやまない太乙村瀬黎である。  
（玩古楼帚舛著「村瀬太乙考」〔犬山名所協会機  
関誌「史と詩の町から犬山」掲載〕より抜粋）



染付牡丹風文風炉  
（市指定文化財）

●同時開催

犬山焼「尾関作十郎陶苑のあゆみ」  
財団法人岩田洗心館 一階常設展示室

●特別開催

鈍牛庵書院茶室見学と呈茶  
（別途料金500円）

平成24年4月4日〔水〕  
10時—15時



公共交通機関の場合  
犬山駅下車、西口より徒歩2分  
お車の場合  
名神高速道路小牧ICより、国道41号線経由25分  
駐車場4台（内障害者専用1台）有

財団法人  
**岩田洗心館**

山静似太古  
日永如少年

「山静以太古」五言古詩

凡老如画不堪情况  
况是淮名白帝城  
今夜未眠  
物存後流頭獨立聽鐘  
為老人

「白帝城」七言絕句



山水画



青砥藤綱